



## 本号の目次



## IRPA 設立 50 周年を祝して

4 年ごとに開催される IRPA の国際会議は、放射線防護分野の極めて重要な要素であり、放射線防護の専門家にとって是非参加すべきイベントです。2016 年 5 月 9 日～13 日に開催の次回大会(IRPA14)は、放射線防護のコミュニティが IRPA 設立 50 周年を祝う、特別に重要な機会となります。この特別の機会を祝うため、大会に特別なプログラムを組み込みます。そこでは、各国の放射線防護学会の役割と重要性、さらに各国学会の IRPA を通じた国際的な連携と協力の重要性に着目します。

1. IRPA 設立 50 周年を祝して
2. 米国保健物理学学会
3. AOCRP-4 開催報告
4. 第 10 回クロアチア放射線防護学会シンポジウム

この祝賀は、大会の水曜日のプログラムの中心となります。朝は、会長による、放射線防護分野における主要な国際機関との相互関係を強調した IRPA の歴史と業績の概観に始まります。続いて、今日の放射線防護との関連を取り上げながら、過去 20 年間の一流のシーベルトレクチャーで提示された重要な論点を反映したパネル討論を行います。

2 番目のパネル討論は、放射線防護分野で NGO として活動する IRPA と加盟学会が直面する挑戦と役割に焦点を当てます。このパネル討論は、各国国内と国際的レベルの論点の両方を扱い、我々の仕事場での専門的気質を高めるといふ我々の集団の願いを再度元気づけ、さらに、我々の学会が各国国内と国際的レベルで放射線防護専門家の代弁者として活動すべく、放射線防護の実務者のモチベーションを上げるように努めます。

午後は、慣習に従った総会にあてられます。各国学会の正式な代表者でない大会参加者は、傍聴参加するか、ケープタウンを楽しむか、自由になります。夕方には、この記念すべき祝いの一日を締めくくる、50 周年の特別な祝賀晩餐会があります。(晩餐会費は大会参加費に含まれています。)

50 周年祝賀のテーマは、加盟学会の良好な実践と挑戦を共有する機会を含めた、大会の他のプログラムにも反映されています。この週を通じた科学的プログラムにおける基調講演のいくつかは、50 周年の展望を反映したものとなります。

IRPA14 は、恒例の放射線防護の課題を全て扱う上に、50 周年の祝賀を強調した、大変すばらしい大会になります。会議の第二案内は大会ウェブサイト [www.irpa2016capetown.org.za](http://www.irpa2016capetown.org.za) で入手可能です。

我々はケープタウンで出来るだけ多くの方々と会えることを楽しみにしています。そして 50(さらに多くの?)の IRPA 加盟学会全てからの代表者の参加を得て IRPA 設立 50 周年を祝い、尊敬され信頼できる放射線防護専門家の代弁者として進む道とともに描きましょう。

Renate Czarwinski  
IRPA 会長

## IRPA 出版委員会

委員長: Christopher Clement  
副委員長: Bernard LeGuen

会報編集  
Chunsheng Li, Ali Shoushtarian

加盟学会リエゾン  
Adelene Gaw

ウェブサイト管理運営  
Andy Karam, Chris Malcolmson

ソーシャルメディア管理運営  
Sven Nagels, Chris Malcolmson

メディア情報収集・提供

Melanie Rickard  
Ralph Thomas  
Sven Nagels  
Young-Khi Lim  
Duncan McClure  
Daisuke Sugiyama  
Cheng Wei

国際放射線防護学会

 <https://www.facebook.com/IRPA0>

 <https://twitter.com/IRPA>

 [www.irpa.net](http://www.irpa.net)

この「IRPA 会報」の日本語訳は、IRPA の公式的な翻訳ではありません。そのため、IRPA はその正確性を保証するものではなく、またその解釈や使用がもたらすいかなる結果についても、一切責任を負いません。

This Japanese translation of "IRPA Bulletin" is not an official IRPA translation; hence, IRPA does not guarantee its accuracy and accepts no responsibility for any consequences of its interpretation or use.

## 米国保健物理学会

(寄稿: Armin Ansari)

米国保健物理学会(HPS)は 1955年6月に初の組織的な会議を行いました。その1年後に、HPSは非営利的な独立の科学的組織として、米国で正式に設立が認められました。そして、HPSはいかなる政府組織、産業組織、私的な組織とも提携していません。今日、HPSには約4,400人の会員がおり、米国内に42の支部と2つの国際支部(台湾とグルジア)があります。

設立初期には、「保健物理」は科学の国際的な場で既に成長を遂げていたため、HPSは国際的会員をますます増やしていました。この関心は学会の初期のリーダー達に他の国での支部創設を促進させました。HPSのフランス、日本、英国の支部は1960年代初期に設立されました。70の国の1,000人に及ぶ組織的活動の後、我々の専門性を示す国際的組織が強く求められるようになりました。その結果、国際放射線防護学会(IRPA)が1965年に設立され、ご存知のように現在、加盟学会数50に成長しました。

HPSは常任の国際協力委員会を有しています。国際協力委員会はHPSの活動への国際的参加を促進しており、適宜、他国における放射線防護機関の計画や設立を援助しています。国際支部を支援することの最終目的は、IRPA加盟学会となることを後押しし、促進させることです。

言及の価値があるHPSの他の常任委員会として、学生支援委員会があります。学生支援委員会は現役あるいは最近卒業した学生により構成されており、彼らの会員としての経験を高めること、指導者資格を与えること、他のHPSの活動への学生の参加を手助けすること、を目的としています。この委員会の学生会員の1名は理事会-HPSの統治組織への参与となり、すべての理事会会合に参画し、貢献します。HPSは、若手専門家の参加の重要性を認識しており、会議への学生参加を可能とするために、毎年相当数の学生に対し旅費援助を行っています。

HPSは毎年2回の大きな会議を行っています。夏季の年会と冬季の中間会議です。HPSは2015年7月のインディアナポリス年会で創立60周年を祝います。例によって、専門家育成学校(PDS)が年間どちらかの会議に併設されます。PDSは毎回、放射線防護のある分野に焦点を当て、全ての保健物理学者に継続的な教育となる先進の論題を提供します。学会は、Health Physics誌とOperational Radiation Safety誌を刊行しています。さらに、Health Physics Newsは40ページもの教育や面白い記事を毎月会員に提供しています。全てのIRPA会員は、このニュースレターを無料で入手できます。

HPSは、放射線安全に疑問をもつ公衆向けに「専門家に尋ねる」(ATE)という事業も行っています。複数のテーマ担当編集者とHPSの多くの専門家が、これまでに11,000以上の質問に答えてきたこの公衆向け事業に貢献しています。これらの質問と回答はテーマ別にアーカイブされており、興味のある方には誰にでも公開されています。<http://hps.org/publicinformation/ate/>

HPSは活動的な標準委員会も有しており、米国規格協会(ANSI)と共に認可された標準開発者となっています。ANSI/HPS標準への無料アクセスは、我々の会員にとってもう一つの利益となっています。

私はこの短い記事をHPSとIRPAの歴史的関係について述べることで始めましたが、次のことを述べて終えたいと思います。HPSは第3回のIRPA会議を1973年9月にワシントンで主催したことを誇りとしています。我々は、2024年の第16回IRPA会議を再び米国で、国際的な仲間を迎える権利を得たいと思っています。もしそれがかなうなら、IRPA会議が米国で開かれてから50年ぶりのこととなります。ともあれ、我々の会員は多くのIRPAイニシアチブで継続して協力することを楽しみにしており、2016年のケープタウン会議で皆さんに会えることを楽しみにしています。



(ネバダ州ラスベガスにおける1961年会議での5名の元会長: Lauriston S. Taylor (中央)は1937-1950年のICRP委員長でもあった); Karl Z. Morgan (右)はIRPAの設立に尽力した)



(IRPA会長のRenate CzarwinskiとHPS国際協力委員会のMike Boyd, カリフォルニア州サクラメントでの2012年HPS会議において)

## 第 4 回アジア・オセアニア放射線防護学会大会 (AOCRP-4) 開催報告

(寄稿: AOARP 会長 Muhamad Bin Lebai Juri)

マレーシア放射線防護学会(MARPA)は、マレーシア原子力庁と科学技術推進省(MOSTI)との協力により、2014 年 5 月 12~16 日、クアラルンプールのプトラワールドトレードセンターにおいて、第 4 回アジア・オセアニア放射線防護学会大会(AOCRP-4)を主催しました。

この会議は、放射線防護の科学的知見と最新の発見を共有する、伝導力のあるプラットフォームとなりました。またこの会議は、マレーシアを外国からの参加者に紹介するとともに、情報の普及と交換において世界の科学者、研究者のネットワークやつながりを構築する素晴らしい機会となりました。

AOCRP 会議はアジア・オセアニア地区の放射線防護学会のメンバー国で 4 年ごとに開催されています。これまでの AOCRP 会議はアジア・オセアニア地区の主要な国が主催してきました。すなわち、韓国(2002 年)、中国(2006 年)、日本(2010 年)です。第 4 回会議をマレーシアで主催したことは、MARPA にとって誇りです。MARPA はマレーシアの原子力技術産業の研究者の協会として 2002 年に設立されました。

会議には放射線防護に係わる 34 の国から 324 名の参加者がありました。146 の論文発表があり、うち 65 の口頭発表と 81 のポスターセッションでの発表が各々の専門分野においてありました。AOCRP-4 での発表と議論では、電離放射線影響、放射線計測と線量測定、放射線源の安全とセキュリティ、緊急事態への準備、基準、規制、教育、医療分野の放射線防護、放射性廃棄物管理、非電離放射線、原子力安全がテーマとなりました。8 つの特別セッション、IOMP-WHO 特別セッション、IRPA 特別セッション、ICRP 特別セッション、UNSCEAR-WHO-IRPA 特別セッション、若手研究者特別セッションが会議中に行われました。

マレーシア放射線防護学会の Mohamad Lebai Juri 博士が AOARP の新会長(2014~2018 年)として選出されました。会議は成功裏に催され、MARPA 会長によって正式に閉じられました。



## 第 10 回クロアチア放射線防護学会シンポジウム

(寄稿: Tomislav Bituh, Branko Petrinc, Ines Krajcar Bronić)



2015 年 4 月 15 日から 17 日まで、クロアチアのシベニクにおいて、国際的な参加者を迎えて、第 10 回クロアチア放射線防護学会(CRPA)が開かれました。この会議は、医療研究と職業人保健の研究所である Ruđer Bošković 研究所、放射線原子力安全官庁の協力を得て、CRPA が主催しました。93 名の参加者(国内科学研究機関、大学、保健施設、私企業から 73 名、ボスニアヘルツェゴビナ、ハンガリー、スロベニア、セルビア、マケドニア、カタールからの国際的参加者 20 名)が 65 の論文を発表し、これらは全て Branko Petrinc、Tomislav Bituh、Nevenka Kopjar、Mirta Milić の編集でプロシーディングスに印刷されており、CRPA のウェブサイト [www.hdzz.hr](http://www.hdzz.hr) から入手可能です。

科学プログラムは 2 つの導入講演、Ines Krajcar Bronić(CRPA 会長)による「1992 年から 2015 年のクロアチア放射線防護学会の 10 回のシンポジウム」と、Dubravko Pevec(ザグレブ大学電子工学・コンピューティング学部)による「世界の気候変動を解決する核分裂エネルギーの可能性」により始められました。本シンポジウムの科学的パートは 8 つのセクションに分類されました。放射線科学と放射線防護の一般的課題、放射線量測定、放射線の生物影響、公衆の放射線防護、医療の放射線防護、放射線生態学、非電離放射線、装置と測定技術です。28 のポスター発表と 37 の口頭発表がありました。各々の口頭発表は多くの興味を呼び起こし、議論につながりました。最優秀ポスター賞は、「電離放射線による文化遺産物の保護」を発表した Katarina Marušić に与えられました。

聖ミカエル要塞の訪問を含むガイド付きの市街観光はシベニク市の提供によって行われました。Etnoland Dalmati(訳者注: 民族文化テーマパーク)訪問も催されました。大会の晩さん会では、参加者は第 10 回大会の儀式に特別の誕生日ケーキに驚きました。技術的展示とスポンサーはこのシンポジウムの成功に貢献しました。

国際的な参加者を迎えて行われた第 10 回 CRPA シンポジウムは、改めて、様々な科学者や専門家が、国際的な刺激ある環境において放射線防護の学際的な場での知見や経験を交換する素晴らしい機会となりました。

